



Hewlett Packard
Enterprise

HPE Systems Insight Manager 7.6 リリース ノート

摘要

このリリースノートでは、HPE Systems Insight Manager リリースの内容を紹介し、制限事項について説明します。また、重度の問題と軽度の問題についてその推奨処置を含めて解説します。

部品番号: 601822-597
発行: 2016 年 12 月
版数: 1

目次

| | |
|--|-----------|
| HPE Systems Insight Manager リリースノート | 4 |
| 概要..... | 4 |
| アップデートの推奨..... | 4 |
| オペレーティングシステムおよびデバイス..... | 4 |
| 機能強化..... | 4 |
| 新しいソフトウェアサポート..... | 4 |
| 新しいハードウェアサポート..... | 5 |
| 新しいストレージおよびネットワークアダプターのサポート..... | 5 |
| 新しい CMS のサポート..... | 6 |
| 新しい管理対象ノードのサポート..... | 6 |
| 新しいストレージサポート..... | 6 |
| 終了したソフトウェアサポート..... | 7 |
| 前提条件..... | 7 |
| 重要な注意事項 | 8 |
| 中央管理サーバー (CMS) | 8 |
| SNMPv3..... | 8 |
| SNMP パススルー..... | 8 |
| エージェントの設定および修復..... | 8 |
| ソフトウェア/ファームウェア..... | 9 |
| Insight Remote Support..... | 10 |
| HP-UX のサポート..... | 10 |
| バージョンコントロールレポジトリマネージャー..... | 10 |
| Linux および HP-UX CMS 上の XL サーバーシャーシの関連付け..... | 11 |
| ヘルプ..... | 11 |
| 検索のヘルプ | 11 |
| 問題と推奨処置 | 12 |
| HPE SIM..... | 12 |
| Web サイト | 15 |
| サポートと他のリソース | 16 |
| Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス..... | 16 |
| アップデートへのアクセス..... | 16 |
| カスタマーセルフリペア (CSR) | 17 |
| リモートサポート (HPE 通報サービス) | 17 |
| 保証情報..... | 17 |
| 規定に関する情報..... | 17 |
| ドキュメントに関するご意見、ご指摘..... | 18 |

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピューター・ソフトウェア、コンピューター・ソフトウェア資料、および商用製品の技術情報は、ベンダー標準の商用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

VMware® は、VMware Inc. の登録商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Java および Oracle は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

すべての HPE 9000 コンピューターの HP-UX Release 10.20 以上と HP-UX Release 11.00 以上 (32 ビット設定と 64 ビット設定の両方) は、Open Group UNIX 95 ブランド製品です。

Intel® および Itanium® は、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

HPE Systems Insight Manager リリースノート

HPE Systems Insight Manager 7.6 リリースノートでは、機能拡張、新しいサポート、および問題と推奨処置に関する情報を提供します。

概要

HPE Systems Insight Manager は、HPE ProLiant サーバーおよびストレージの管理に役立つように設計されたシステム管理ソフトウェアです。ソフトウェアの機能については、**[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#)** で提供される *HPE Systems Insight Manager ユーザーガイド* を参照してください。

アップデートの推奨

7.4.x および 7.5.x のバージョンを実行しているお客様は、7.6 バージョンにアップグレードすることをお勧めします。

オペレーティングシステムおよびデバイス

このリリースは、**[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#)** にある *HPE Insight Management サポートマトリックス* に掲載されているオペレーティングシステムとデバイスをサポートします。

機能強化

以下の各項では、新しい機能と、このリリースで利用できるサポートを示します。

新しいソフトウェアサポート

- Microsoft SQL Server 2012 SP 3 データベース
- HP Smart Update Manager (HP SUM) v7.6.0
- 7.4.x、7.5.x、および 7.6 から 7.6 へのデータ移行のサポート
- 7.4.x および 7.5.x から 7.6 へのアップグレードのサポート
- HP Virtual Machine 6.4
- Network Controller Driver Ethernet (NCDE) 11.60
- Microsoft System Center Virtual Machine Management (SCVMM) 2016
- Java Runtime Environment (JRE) 1.8 Update 45 以降
- Microsoft SQL Server 2016 データベース
- HPE Intelligent Provisioning 2.50
- Service Pack for ProLiant 2016.10.0
- HPE Integrated Lights Out 4 v2.50
- MIB キット バージョン 10.50
- HPE Virtual Connect 4.50
- Network Node Manager i 10.20
- Adobe Flash Player バージョン 22
- HPE Systems Insight Manager 製品とドキュメントの商標変更
- Google Chrome 50 以降
- VMware ESXi を実行する HPE Synergy サーバーでの仮想マシンのサポート
- Oracle 12c データベースのサポート

注記:

Oracle 12c 用の Oracle JDBC ドライバー 12.1.0.2.0 をインストールしてください。ドライバーは、Oracle 社の Web サイト <http://www.oracle.com/technetwork/database/features/jdbc/jdbc-drivers-12c-download-1958347.html> からダウンロードできます。

Oracle 12c データベースのインストール後、次の構成変更が必要です。

- C:\app\OracleHomeUser\product\12.1.0\dbhome_1\NETWORK\ADMIN
パスにある以下の各ファイルを更新します。

Sqlnet.ora :

このファイルに、以下のプロパティを追加する必要があります。

```
SQLNET.ALLOWED_LOGON_VERSION=8  
SQLNET.ALLOWED_LOGON_VERSION_SERVER=8  
SQLNET.ALLOWED_LOGON_VERSION_CLIENT=8
```

Listener.ora :

リスナーにホストの IP アドレスを追加します。

```
LISTENER =  
(DESCRIPTION_LIST =  
(DESCRIPTION =  
(ADDRESS = (PROTOCOL = TCP)(HOST = localhost)(PORT = 1521)))  
(ADDRESS = (PROTOCOL = TCP)(HOST = <HostIPAddress>)(PORT = 1521))  
(ADDRESS = (PROTOCOL = IPC)(KEY = EXTPROC1521))  
)  
)
```

tnsnames.ora :

Localhost をホスト IP アドレスと置き換えます。

Localhost -> <ホスト IP アドレス>

- 変更を実装するために、Oracle リスナーを再起動します。

新しいハードウェアサポート

- HPE ProLiant XL260a Gen9
- HPE ProLiant XL270d Gen9
- HPE Synergy 480 Gen9
- HPE Synergy 660 Gen9
- HPE Synergy 620/680 Gen9
- HPE Synergy 480 NVIDIA Tesla M6 FIO メザニンカード
- HPE Synergy 12000 フレーム

注記:

HPE Synergy サーバーの検出と監視は、Agentless Management Service モードでのみサポートされます。

新しいストレージおよびネットワークアダプターのサポート

- HPE StoreFabric SN1100E 16 Gb 4 ポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32 Gb 1 ポート/2 ポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1200E 16 Gb 1 ポート/2 ポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600E 32 Gb 1 ポート/2 ポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy サーバー用、QLogic 20 Gb 2 ポートメザニンカード
- HPE Synergy サーバー用、QLogic 16 Gb ファイバーチャネル

- HPE Synergy 2820C 10 Gb Qlogic コンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10 Gb 4 ポート 536FLR-T アダプター
- HPE Qlogic 25 Gb 4 ポート BB SU
- HPE Synergy 3530C 16 Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター
- Mellanox Connect-4 HCA PCI-e 直立型カード
- HPE Ethernet 25 Gb 2 ポート 640FLR-SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25 Gb 2 ポート 640SFP28 アダプター
- HPE Synergy サーバー用、H240nr Smart アレイコントローラー
- HPE Synergy サーバー用、P240nr Smart アレイコントローラー
- HPE Synergy サーバー用、デュアル外部 M.2 HP ハードウェア/ソフトウェア RAID
- HPE Synergy サーバー用、P542d Smart アレイコントローラー
- HPE D6020 LFF JBOD

新しい CMS のサポート

- Microsoft Windows Server 2016 Standard、Datacenter、および Hyper-V CMS
- Microsoft Windows Nano Server 2016 Hyper-V CMS
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.2 CMS
- SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 12.1 CMS
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.7 CMS
- VMware vSphere 6.0 Update 2 CMS
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.8 CMS

新しい管理対象ノードのサポート

- Microsoft Windows Server 2016 Standard、Datacenter、Essentials、および Storage エディション管理対象ノード
- Microsoft Windows Server 2016 Hyper-V 管理対象ノード
- Microsoft Windows Nano Server 2016 Hyper-V 管理対象ノード
- Red Hat Enterprise Linux 6.8 上のカーネルベース仮想マシン管理対象ノード
- Microsoft Windows Nano Server 2016 管理対象ノード
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.8 管理対象ノード
- Microsoft Windows Server 2016 Standard および Datacenter Server Core (非 GUI) 管理対象ノード

注記:

Microsoft Windows Nano Server 2016 の検出と監視は、Agentless Management Service モードでのみサポートされます。

新しいストレージサポート

- HP 3PAR OS 3.2.2 MU3 (StoreServ 7000 および 10000 ファイバーチャネルおよび iSCSI 上)
- HP 3PAR OS 3.2.2 MU3 (StoreServ 8000 および 20000 ファイバーチャネルおよび iSCSI 上)
- Microsoft Windows Storage Server 2016 と組み合わせられた HPE StoreEasy 製品
 - 1450 WSS2016
 - 1550 WSS2016
 - 1650 WSS2016
 - 1650E WSS2016
 - 1850 WSS2016
 - 3850 ゲートウェイ WSS2016
 - 3850 ゲートウェイブレード WSS2016
 - 3PAR file ctrl v3 WSS2016

- HPE StoreVirtual Storage と組み合わされた HPE LeftHand OS 12.6
- HP MSA 1040/2040 の GL220P009 ファームウェアでのサポート

終了したソフトウェアサポート

- VMware ESX 4.1 Update 3 CMS および管理対象ノード
- VMware ESXi 4.1 Update 4 CMS および管理対象ノード
- VMware ESXi 5.0 Update 1 CMS および管理対象ノード
- VMware ESXi 5.0 Update 2 CMS および管理対象ノード
- VMware ESXi 5.0 Update 3 CMS および管理対象ノード
- VMware vSphere (ESXi) 5.1 Update 1 CMS および管理対象ノード
- VMware vSphere (ESXi) 5.1 Update 2 CMS および管理対象ノード
- VMware vSphere (ESXi) 5.1 Update 3 CMS および管理対象ノード
- Microsoft Hyper-V Server 2008 CMS
- Microsoft Windows Server 2008 SP2 Hyper-V CMS
- Microsoft Windows Server 2008 SP2 CMS
- Microsoft Windows 2003 管理対象ノード

前提条件

今回のリリースに関するハードウェア、ファームウェア、およびソフトウェア要件のリストについては、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** にある *HPE Insight Management サポートマトリックス* を参照してください。

インストールとアップグレードの前提条件は、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** にある *HPE Systems Insight Manager インストール/コンフィギュレーションガイド* に記載されています。

重要な注意事項

以下の各項では、既知の問題や制限事項について説明します。

中央管理サーバー（CMS）

ローカルの CMS に、新しいドライバー、ファームウェアエージェントなどのソフトウェアをインストールする場合は、CMS が強制的に再起動されるといった異常な結果を回避するため、十分に注意して計画してください。

SNMPv3

SNMPv3 のサポートと制限事項は次のとおりです。

SNMPv3 INFORM のサポート

SNMPv3 INFORM を HPE SIM に送信するには、HPE SIM エンジン ID - 0x8000000b0448502d53494d を使います。

注記:

SNMPv3 を介して **HPE P6000 Command View** デバイスと **HPE P6000 Performance Advisor** デバイスを検出するには、エンジン ID を指定する必要があります。これらのデバイスから SNMPv3 トラップを受信するために、セキュリティ名、セキュリティレベル、認証または権限の各フィールドにデータを入力します。

HPE P6000 Command View のエンジン ID は一定であり、0x800000e80450363030304356 に設定されています。

HPE P6000 Performance Advisor のエンジン ID は一定であり、0x800000e80450363030305041 に設定されています。

SNMP トラップ

HPE SIM は、カスタム定義のコミュニティ名を取り入れ、それがすべての SNMPv3 トラップに適用されます。これらのコミュニティ名は、Automatic Event Handling (AEH) を使用して v1 フォーマットのトラップとして転送されます。globalsettingsupd.tpl (/config) ファイルにある **snmpv3_trap_forward_community** は、デフォルトの public コミュニティ名ではなく、すべての SNMPv3 トラップ転送用のカスタムのコミュニティを定義します。コミュニティ名は SNMPv1 として保持され、SNMPv2 トラップとして転送されます。このフィールドは、デバッグページの **一般設定** ユーザーインターフェイスを介して設定してください。

SNMP パススルー

HPE iLO 4 を介した ProLiant Gen8/Gen9 サーバーの SNMP 検出は、次の 2 つの方法で実行されます。

- iLO 4 で SNMP パススルーオプションを有効にすることで、OS の情報が収集されます。情報は、OS レベルでインストールされている管理プロトコル (SNMP) を使用して収集されます。情報は、コミュニティ名が一致する場合にのみ収集されます。
- 以下の各ステップを実行します。これらのステップでは、Agentless Management がサーバーの完全な詳細情報を検出してサーバーノードと関連付けます。
 - サーバーに HPE ProLiant Agentless Management Service をインストールします。
 - HPE iLO 4 のマネジメントページで Agentless Management を選択します。

エージェントの設定および修復

HPE Insight Management WBEM プロバイダーがすでにシステムにインストールされている場合は、Linux システム上でのエージェントの設定および修復 (CRA) は失敗します。HPE では、同じシステム上で WBEM と SNMP (CRA によって展開された Linux サポートパックに含まれています) の両方を使用することをサポートし

ていません。CRA の処理に失敗した場合、ターゲットシステムにあるログが表示されます。これは、/var/hp/log/hpsum_execution_log*ファイルと/var/hp/log/localhost/*.txt ファイル内にあります。

WBEM プロバイダーがすでにインストールされている場合、localhost\hpsum_detail_log.txt ファイルは依存関係の競合 hp-health conflicts with hp-smx を示します。

ソフトウェア/ファームウェア

HP-UX CMS は以下の機能をサポートしません。

- オフラインファームウェアアップグレード。
- OA、iLO、または Virtual Connect へのインストール。
- HPE バージョンコントロールエージェントを実行していないサーバーへのインストール。

ソフトウェアとファームウェアの機能を利用するためには、HPE SIM を Linux または Windows システム (Windows の方がよい) でセットアップしてください。

注記:

サーバーで **Trust Platform Mode** が有効になっている場合、iLO へのソフトウェアおよびファームウェア展開のインストールは機能しません。

展開 > ソフトウェア/ファームウェアベースライン > ソフトウェア/ファームウェアバージョンの追跡を選択して SPP をオフラインモードでインストールする場合、iLO が内蔵 SmartStart モードで実行されているときに識別タスクを実行すると、余分な iLO が誤って部分的に検出されることがあります。展開タスクの結果が実際の iLO に対しては成功、誤った iLO に対しては失敗と表示されることがあります。この場合、展開は成功を示しています。iLO が内蔵 SmartStart モードでないときに識別をもう一度実行すれば、誤った iLO が削除されます。

HP-UX および HPE SIM を介してソフトウェアまたはファームウェアをアップグレードするには、ターゲット上に HPE VCA が存在しなければなりません。Linux または Windows CMS からのソフトウェアまたはファームウェアのアップグレードは、OA および Virtual Connect に対して、アップグレード対象のターゲットベースのファームウェアについて実行されます。これらのアップグレードを HP-UX CMS を介して行うことはできません。

ソフトウェアまたはファームウェアのアップグレードがエラーコードを表示することなくただちに失敗する場合は、CMS 上ですでに実行されている HP SUM プロセスのインスタンスがないか確認してください。一度に 1 つのインスタンスだけを実行する必要があります。HP SUM プロセスを閉じ、以下のタスクを実行して操作を再試行します。

- ソフトウェア/ファームウェアのインストール。
- エージェントの設定および修復。
- システムソフトウェアウィザードの管理。
- ソフトウェア/ファームウェアベースラインの管理。
- ソフトウェア/ファームウェアバージョンの追跡。

次の場合、タスクは正常に完了します。

- ソフトウェアまたはファームウェアをオンラインまたはオフラインモードでターゲットに展開する。
- ターゲットにソフトウェア/ファームウェア (古いバージョン) がない。

ターゲットにソフトウェアまたはファームウェアコンポーネントがすでにインストールされている場合、タスクはターゲットに最新のソフトウェア/ファームウェアを強制的にインストールします。

Windows システム上で HPE SIM を実行して、VMware ESXi オペレーティングシステムを実行するサーバーをリモートから更新します。詳しくは、[HPE のオンラインデポ Web サイト](#) (英語) を参照してください。

ファームウェアアップデートについて詳しくは、[HPE Service Pack for ProLiant リリースノート](#)を参照してください。

HPE SIM による Virtual Connect ファームウェアのアップグレードの前提条件は、次のとおりです。

1. ユーザー名と工場出荷時パスワード（ハードウェアに印刷）を使って PuTTY から Virtual Connect ファームウェアにログインします。
2. エンクロージャーのユーザー名とパスワードをインポートするために、`import enclosure Username=<OA Username>Password=<OA Password>` コマンドを実行します。
3. エンクロージャーの詳細をインポートするために、`show enclosure` を実行します。

注記:

HPE SIM は、エージェントの設定および修復（CRA）経由での HPE VCA のインストールと設定はサポートしません。

Insight Remote Support

HPE SIM での HPE Insight Remote Support の使用、システム要件、および製品サポートについては、HPE の Web サイト <http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs> を参照してください。

HPE Insight Remote Support に関するマーケティング情報については、[HPE 通報サービス](#) を参照してください。

HP-UX のサポート

HP-UX は、IPV6 アドレスをサポートしていません。

バージョンコントロールレポジトリマネージャー

HP SIM 7.3 ユーザーは、HPE VCRM 7.2.2 またはそれ以前のバージョンを含むカスタムベースラインを使ったエージェントのオンライン展開を実行できません。オンライン展開を実行するには、HPE VCRM 7.3.0 にアップグレードする必要があります。カスタムベースラインを使ったエージェントのオンライン展開に関する互換性マトリックスは、次のとおりです。

表 1：互換性マトリックス

| HPE SIM バージョン | HP SUM バージョン (HPE SIM 内にバンドル) | HPE VCRM バージョン |
|---------------|-------------------------------|----------------|
| 7.6 | 7.6 | 7.6 |
| 7.5.1 | 7.5.2 | 7.5.3 |
| 7.5 | 7.3.0 | 7.5.0 |
| 7.4.1 | 7.2.1 | 7.4.2 |
| 7.4 | 7.1 | 7.4 |
| 7.3.2 | 6.4.1 | 7.3.4 |
| 7.3.1 | 6.3.1 | 7.3.2 |
| 7.3 | 6.0.1 | 7.3 |
| 7.3 より前 | 5.3.6 以前 | 7.3.4 以前 |

Linux および HP-UX CMS 上の XL サーバーシャーシの関連付け

Linux および HP-UX CMS 上の XL サーバーの場合、シャーシは HPE SIM で検出されないため、シャーシの関連付けは行われません。

ヘルプ

簡体字中国語では、SNMPv3 認証情報ページのヘルプは表示されません。SNMPv3 について詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) で提供される *HPE Systems Insight Manager ユーザーガイド* を参照してください。

ファーストタイムウィザード - 検出ヘルプが表示されないことがあります。検出について詳しくは、*HPE Systems Insight Manager* のオンラインヘルプを参照してください。

検索のヘルプ

- **検索では、大文字と小文字は区別されません。**例：「cat」を検索すると、「cat」を含むトピックも「Cat」を含むトピックも見つかります。
- **完全一致と部分一致。**部分的に一致していても関連がない単語は見つかりません。例：「cat」を検索すると、「cat」も「cats」も見つかりますが、「category」は部分一致文字列と関連のない単語なので見つかりません。
- **ワイルドカード文字はサポートされません。**例：「cat*」を検索すると、「cats」を含むトピックは見つかりませんが、「category」を含むトピックは見つかりません。
- **キーワードの貼り付け。**複雑なキーワードを入力する場合は、その語を別のウィンドウからコピーして、テキストボックスを右クリックし貼り付けを選択します。
- **一部の一致は、表示可能な内容に対するものではなく、トピックのメタデータに対するものです。**
- **検索結果で一致する内容がない場合、システムは検索結果が見つかりませんでした：<検索ワード>パネルに検索ワードではなく語幹を返します。**たとえば、「Orchestration」という単語の語幹「orchestr」が取り出され、結果には**検索結果が見つかりませんでした：orchestr**と表示されます。これは、予期された動作です。

表 2：サポートされる検索オプション

| オプション | 結果 |
|-----------|--|
| 引用符で囲んだ語句 | サポートなし。 |
| AND | 2つの単語を入力すると、検索エンジンは、両方の単語を含むトピックと各単語を含むトピックを見つけます。 |
| OR | 検索エンジンは、一方の単語だけを含むトピックを見つけます。3つ以上の単語を入力できます。検索ごとに、別々のリストが表示されます。 |
| NOT | サポートなし。 |
| ワイルドカード | サポートなし。 |
| メタデータ | サポートあり。 |
| 順位付け | サポートなし。 |

問題と推奨処置

HPE SIM は、各バージョンの製品のリリース前に厳密なテストを行っています。HPE の最近のテストにより、以下のような注意を要する事項が見つかりました。

HPE SIM

- **問題** : HPE Synergy 3530C 16 Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターと HPE STOREFABRIC SN1600E 32 Gb 1P/2P ファイバーチャネルホストバスアダプターの表示名は、HPE SIM と iLO で異なる。

HPE SIM は、カードの名前を Emulex LightPulse HBA - Storport miniport として受け取り、インストールされているコントローラーの下での Data Collection レポートに同じ名前を表示します。一方、iLO はブート OS からデータを受け取り、同じカードを、それぞれ、HPE Synergy 3530C 16G HBA および HPE STOREFABRIC SN1600E 32Gb FC 1P/2P HBA として表示します。したがって、両方のカードは、命名規則は異なりますが同じです。

- **問題** : HPE SIM でのデータ収集の実行中に、*HPE StoreFabric SN1100Q 16 GB 2P FC HBA* アダプターと *HPE StoreFabric 84Q 4P 8 GB* ファイバーチャネル HBA アダプターを内蔵するサーバーがネットワークインターフェーステーブルのリストに表示されない。一方、アダプターのドライバーおよびファームウェアのバージョン情報は、DC レポートのソフトウェア/ファームウェアベースライン情報テーブルに表示されます。

この問題は、次のリリースで解決される予定です。

- **問題** : SLES11 SP 4/RHEL 7.2 オペレーティングシステムで、SNMP がサーバーと iLO の関連付けを検出できない。

推奨処置 : SLES11 SP 4/RHEL 7.2 オペレーティングシステムでは、SNMP を介した iLO の水平検出は、サーバーをシリアル番号で表示します。IP アドレスを使用したサーバーの再検出中に、ノードをマージする際に障害が発生します。そのため、新しいノードが異なる UUID で検出されます。

注記:

ただし、サーバーと iLO の関連付けは、iLO AMS 検出を介して機能します。

- **問題** : SIM で **ユーザー定義ラック名** を変更すると、Onboard Administrator (OA) とエンクロージャーの関連付けが失われる。

Onboard Administrator がその関連付けを使用して検出された後に、SIM のみで **ユーザー定義ラック名** を編集すると、SIM が識別プロセスで Onboard Administrator の xml から抽出するラック名が SIM で編集されているラック名と一致しなくなります。このため、OA/エンクロージャーの関連付けが削除されます。

推奨処置 : OA の検出後に、SIM で **ユーザー定義ラック名** を編集する場合は、識別がトリガーされる前に OA でも同じ項目を更新して、関連付けをそのまま維持します。

- **問題** : GL200 以降のファームウェアを実行する MSA 2040/1040 ストレージレイが、プール容量を不正確に報告する。

推奨処置 : この問題を解決するには、MSA Storage Management Utility を使用して、プール容量の情報を取得します。

- **問題** : **オンライン ROM フラッシュコンポーネント (Windows 用) - HPE Smart アレイ B320i RAID コントローラー** のベースラインのバージョンとインストールされているバージョンのバージョン形式での不一致。

B320i ファームウェアの場合、インストール済みバージョンが 4.50 として表示されますが、(SPP からの) ベースラインのバージョンおよび (SPP からの) 最新バージョンが 15.10.07.00 (2014.09 SPP または 2015.03 SPP が付属) として表示されます。

原因 : 15.x.x.x は、直接コントローラーにロードされている LSI 社からのファームウェアを指します。3.X および 4.X のファームウェアは、RAID モードの場合のコントローラーの HPE ソフトウェア側です。そのため、形式に違いがあります。

- **問題** : CRA (エージェントの設定および修復) を使用して HPE SIM (CMS) と iLO 2 (管理プロセッサ) との間の信頼を確立するときに、https 通信が Bad Record Mac エラーによって失敗する。このエラーは、JDK の TLS の実装での問題が原因です。

推奨処置: <SIM-Directory>/config/globalsettings.props にある globalsettings.props ファイルで、プロパティ USE_TLSV1 を true に設定します。HPE SIM サービスを再起動します。

注記:

推奨処置は、iLO 2 2.29 ファームウェアを対象としています。

- **問題:** NonStop OSM イベントビューアのシステムページの ツール&リンクタブでの HPE SIM の起動で、"http"の代わりに https を使用する必要がある。

推奨処置: この問題を解決するには、手動で HPE SIM サービスを再起動し、パッチのインストール後に、NonStop クラスタを再検出します。

- **問題:** WBEM イベントが受信されないため、XP7 ストレージレイの WBEM サブスクリプションが失敗する。

この問題は、次のリリースで解決される予定です。

- **問題:** Service ProLiant Pack がインストールされている Windows システム上で HPE SIM のインストールが失敗する。ProLiant の Service Pack (Service Pack for ProLiant バージョン 2014.02.0(B)以降) がインストールされているシステムで、HP SUM が Cygwin のレジストリエントリを作成することが検出されました。このようなシステムで HPE SIM のインストールを試みると、HPE SIM のインストールは失敗します。

推奨処置: HPE SIM をインストールする前に、次のパスにレジストリエントリが存在するかどうかを確認する必要があります。\\HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Cygwin

エントリが見つかった場合は、削除してから HPE SIM のインストールを開始します。

注記:

この問題は、Service Pack for ProLiant 2015.03.0 バージョン使用中には発生しません。

- **問題:** Enclosure Manager Firmware バージョン 1.20 およびバージョン 1.30 で、XML 応答の IO モジュールのシリアル番号と一意識別子の返却に問題がある。

説明: IO モジュールのノードは、Enclosure Manager が検出されると自動的に検出されます。Enclosure Manager Firmware の問題のため、Enclosure Manager の検出時に HPE SIM の IO モジュールのノードが自動的に検出されません。

- **問題:** Debian OS の検出に関する問題。

説明: Debian OS がインストールされたシステムが検出されると、HPE SIM は、ノードで OS 名と OS バージョンを設定しません。Debian OS は、ノードのシステムページから確認されます。

推奨処置: Debian OS のバージョンを、システムプロパティの編集で手動で設定します。OS 名は、ノードのシステムページに表示されるハードウェア詳細で確認されます。

OS バージョンを設定するには、以下の手順を実行します。

1. ノードをクリックします。ノードのシステムページが表示されます。
2. ツール&リンク > システムプロパティの編集をクリックします。
3. オペレーションシステムバージョンフィールドに OS バージョンの値を入力します。
4. OK をクリックします。

- **問題:** Windows Server 2016 Essentials および Windows Server 2016 Storage の Standard Edition の検出で、システムページに、それぞれ「Windows Server 2016 x64 Enterprise edition」、「Windows Storage server 2016 x64 Enterprise editions」と表示される。

Agentless Management Service モード (AMS) を介して、Windows server 2016 Essentials および Windows server 2016 Storage Standard Edition の Integrated Lights Out 4 が検出されると、サーバーのシステムページの OS 名は、それぞれ、「Windows Server 2016 x64 Enterprise edition」、「Windows Storage server 2016 x64 Enterprise editions」として設定されます。

推奨処置: システムページの ツール&リンクタブのシステムプロパティの編集 > オペレーティング システム詳細フィールドを更新して、OS 名を手動で設定します。

- **問題:** Windows 2012 R2 CMS からの展開が失敗する。

推奨処置 : コンポーネントを展開するには、CMS 上で Windows Update を実行し、展開タスクを再実行します。

- **問題** : HPE SIM 7.5 が Windows Server 2012 R2 Standard システムにインストールされると、HPE SIM のバージョン情報ページに不正なオペレーティングシステムのバージョン (Windows Server 2012) が表示される。この問題は、HPE SIM と統合される JRE に関連することが確認されています。Java でも、Windows 2012 オペレーティングシステムの正しい名前を取得できません。

Web サイト

全般的な Web サイト

| | |
|--|---|
| Hewlett Packard Enterprise Information Library | http://www.hpe.com/info/EIL |
| Hewlett Packard Enterprise サポートセンター | http://www.hpe.com/support/hpesc |
| Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide | www.hpe.com/assistance |
| サブスクリプションサービス/サポートのアラート | http://www.hpe.com/support/e-updates-ja |
| Software Depot | http://www.hpe.com/support/softwaredepot |
| カスタマーセルフリペア | http://www.hpe.com/support/selfrepair |
| Insight Remote Support | http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs |

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトを訪問してください。

<http://www.hpe.com/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトに移動します。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- テクニカルサポート登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。製品のドキュメントを確認し、推奨されるソフトウェアアップデートの方法を特定します。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかに移動します。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター: ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- eNewsletters およびアラートにサブスクライブするには、以下の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様の権利の表示や更新を行ったり、契約と保証をプロフィールとリンクさせたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページをご覧ください。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

❗ 重要:

一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の権利付与情報が必要になる場合があります。関連する権利付与情報を使って HP パスポートをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。CSR による修理が可能かどうかについては、Hewlett Packard Enterprise のサポート窓口が判断します。

リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

| | |
|---|---|
| HPE 通報サービス | http://www.hpe.com/jp/hpalert |
| HPE プロアクティブ ケアサービス | http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja |
| HPE プロアクティブケアサービス : サポートされている製品のリスト | http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts (英語) |
| HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス : サポートされている製品のリスト | http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts |

プロアクティブケアカスタマー情報

| | |
|----------------------|---|
| プロアクティブケアセントラル | http://www.hpe.com/services/proactivecarecentral |
| プロアクティブケアサービスのアクティブ化 | http://www.hpe.com/services/proactivecarecentralgetstarted |

保証情報

ご使用の製品の保証を確認するには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターで入手できるサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照します。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

追加保証情報

| | |
|---------------------------------|---|
| HPE ProLiant と x86 サーバーおよびオプション | http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties |
| HPE Enterprise サーバー | http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties |
| HPE ストレージ製品 | http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties |
| HPE ネットワーク製品 | http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties |

規定に関する情報

ご使用の製品の規定に関する情報を表示するには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターで入手できるサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照します。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。本製品の化学物質情報レポートについては、次をご覧ください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

Hewlett Packard Enterprise 製品の環境および安全に関する情報やコンプライアンスに関するデータ（RoHS、REACH など）は、次をご覧ください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>（英語）

Hewlett Packard Enterprise の社内プログラム、製品リサイクル、エネルギーの有効利用などの環境情報については、次をご覧ください。

<http://www.hpe.com/info/environment>（英語）

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当（docsfeedback@hpe.com）へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、製品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。